



# LINE開発入門～第2回～

LINEのチャットボットを作ってみる



# 自己紹介

- ▶ 重本 尚志
- ▶ 略歴：
  - ▶ 徳島大学工学部卒業（2008-03）
  - ▶ 独立系IT企業に新卒として入社（2008-04）
  - ▶ C#やJavaを中心（クラサバ多め）に案件を転々とする。
  - ▶ 退職・独立（2017-01）
  - ▶ 株式会社PUreatio設立（2018-12）
- ▶ 趣味：トレーディングカード収集
- ▶ 好きな食べ物：奈良漬、味噌ラーメン
- ▶ 最近稼働が上がり気味



# 目次

- ▶ LINEとは
  - ▶ 前回のおさらい
- ▶ LINE Developersアカウントでチャットボットを作ってみる



# LINEとは

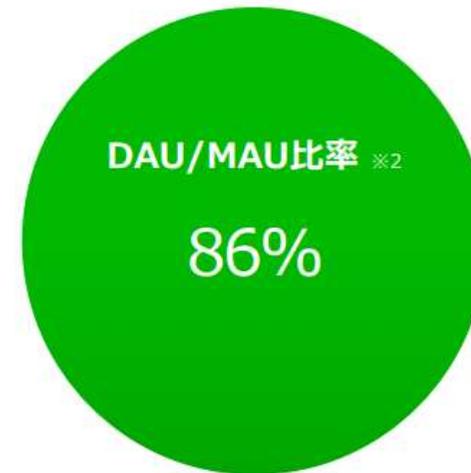
- ▶ LINE株式会社が提供しているSNSサービス
  - ▶ ユーザー同士で無料でチャット、IP電話等が行えるコミュニケーションツール
  - ▶ 2011年6月にサービスが開始されている
- ▶ LINEでできること
  - ▶ チャット
  - ▶ スタンプ送付
  - ▶ IP電話(ビデオ電話)
  - ▶ その他、LINEサービスの利用(ゲーム、LINE Pay等)

# LINEとは

国内のMAUは8,100万人以上。  
日本の人口の64%以上をカバーしています。



日本の人口の64%以上 ※3



毎日利用している日本国内のユーザー

出典：※1 自社調べ LINEアプリ 月間アクティブユーザー 2019年6月末時点  
出典：※2 MAUにおけるDAU = Daily Active User（1日に1回以上利用したユーザー）の割合 2019年6月末時点  
※3 LINEの国内月間アクティブユーザー 8,100万人÷日本の総人口1億2631万人(平成31年2月1日現在(確定値) 総務省統計局)



# LINE Developersでできること

- ▶ LINE Developersでは以下のことが可能となっている
  - ▶ LINEログイン
  - ▶ MessagingAPI
  - ▶ LINE Bot Designer
  - ▶ LINE Things
  - ▶ Clova Extensions Kit
  - ▶ LINE Pay
  
- ▶ <https://developers.line.biz/ja/services/>



# LINE Developersアカウントでチャット ボットを作ってみる

- ▶ 今回作成したもの
  - ▶ 郵便番号を入力して、住所を取得するチャットボット
- ▶ 利用したもの
  - ▶ LINE MessagingAPI
    - ▶ プッシュメッセージAPIを利用してメッセージを送信している
  - ▶ AWS Lambda
    - ▶ Java8(Amazon Corretto)
  - ▶ AWS APIGateway
  - ▶ Zipcloudの住所検索API
    - ▶ <http://zipcloud.ibsnet.co.jp/doc/api>



# LINE Developersアカウントでチャットボットを作ってみる

- ▶ LINEのアカウントに必要な設定
  - ▶ デフォルト応答文言の設定(任意)
    - ▶ デフォルトで応答文言が設定されているので、不要であれば設定が必要
- ▶ LINEのチャンネルに必要な設定
  - ▶ Webhookの有効設定
  - ▶ WebhookURLの設定
    - ▶ LINEプラットフォームからボットにイベントを送信する際の送信先URL
  - ▶ セキュリティ設定(今回は特に設定していない)

# LINE Developersアカウントでチャットボットを作ってみる

① 郵便番号を入力



② 郵便番号送信



② 住所返却



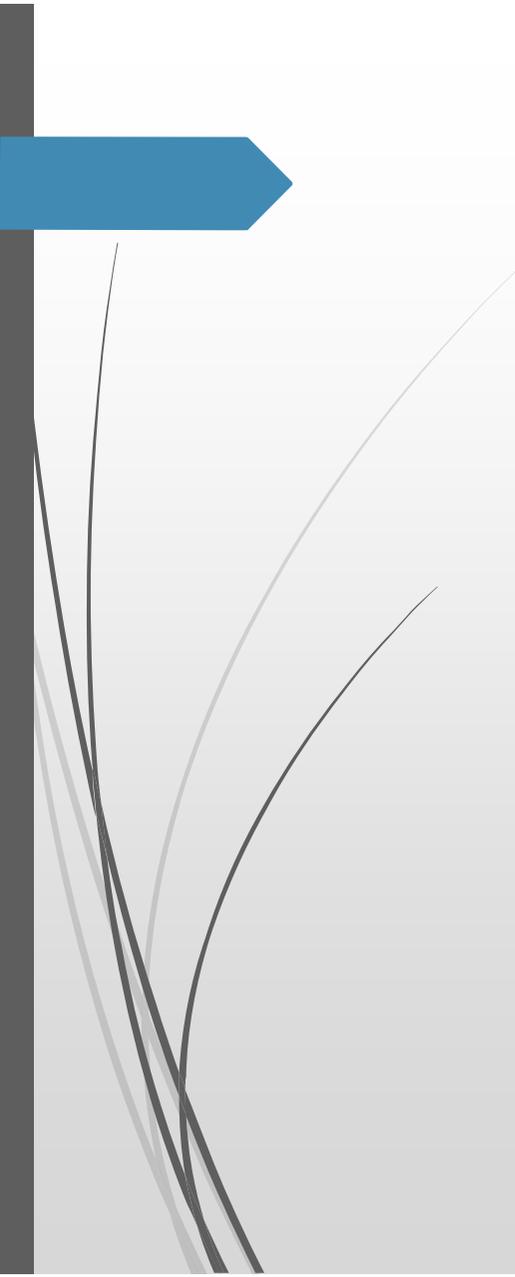
③ 郵便番号から住所を探す





## まとめ

- ▶ LINEでのChatbotは外部サーバー(サーバーレスサービス)を利用すれば簡単に作れる。
  - ▶ LINEのチャンネル設定だけではなく、アカウント側の設定も行わないと、デフォルト設定とごちゃごちゃになるので注意
- ▶ メッセージの確認は、LINE bot designerを利用してあらかじめJSONを検討しておくこともできる



**ご清聴ありがとうございました**